

誤嚥性肺炎の問題点

- 人口構成の(超)高齢化により肺炎死亡が増加
 - 高齢者肺炎では誤嚥性肺炎が多い
 - 不顕性誤嚥の関与が大きく、嫌気性菌、口腔内常在菌が原因となりやすい
- 繰り返す: 反復治療により難治化、耐性菌リスクが上昇
 - 耐性菌保菌状態との鑑別: MRSA, 緑膿菌
 - 抗MRSA薬、アミノグリコシド投与による毒性
 - 高齢者は臓器予備能が低下している